

第八回「家族懇談会」を終えて

四月二十一日（日）、「家族懇談会」を開催しました。懇談会は例年通り、午前の部・午後の部の二部構成で実施し、午前中は昨年一年間の施設の事業報告と、今年度の目標についての説明を行い、午後からは、ユニットの事業報告・事業計画を、各ユニットで報告しました。

午後の部では各ユニットで活発な質疑応答があり、有意義な意見交換の場となりました。終了後は、どのユニットリーダーも達成感のある満足した表情をしていたのが印象的でした。

また、当日にアンケートも配布し、ご家族の皆様から回答を頂きました。アンケート内のご意見として、当日配布した資料について「説明順にしてはどうか？」話している内容にあったページを探すのが大変だった」

というものがありません。来年度の家族会に向けての改善点にさせていただきます。また、アンケート内では「各ユニットで基本方針と重点施策は異なるのですか？」というご質問がありました。結論から言うと、各ユニットによって異なります。もちろん当施設の基本方針・重点施策が根底にあります。各ユニットでご利用者も、働いている職員も異なりますので、それぞれのユニットに合った基本方針と重点施策を定めて、一年間の指標、そして振り返って評価する基準としています。簡単ではありません。



ですが、この場をお借りしての回答とさせていただきます。

最後になりましたが、雨の中、五十七名ものご参加があったことを心よりお礼申し上げます。今回、皆様から直接伺いしたご意見やアンケート結果を参考に、今後も更なる発展に向けて取り組んでいきます。

（市枝）

◆参加いただいたご家族より

「星の荘ユニット」

片桐小壽美様のご家族・片桐慧様
今年で八回目となる「家族懇談会」に参加させて頂きました。初めの頃は、制度改正や「宝塚ちどり」での生活上の決まりごとなどのお知らせ、お願い事を聞くという感じでしたが、回を重ねるごとに入居者や家族の意見を聞き、スタッフに発表の場を持たせることで、職員研修も兼ねた「家族懇談会」だと感じる様になりました。

説明の中で、今年の冬、日本全国

でインフルエンザやノロウィルスの集団感染が広まっていたのに、「宝塚ちどり」の入居者に、一人も感染者が出ていないということを知り、徹底した予防対策が功を奏しているのだと思いました。

午前の部終了後の試食会（当日の献立・野菜カレー・一口カツ・ブロッコリーサラダ・リンゴのコンポート）では、入居者個々に合わせた献立の豊富なこと、味付けや見栄えなど、どれをとっても並大抵でない努力がされていることに感心させられました。

母は入居当時、面会の度に「迎えにきてくれたん」と帰り支度をしていましたが、ようやくここが自分の家で「よく判ったね、お茶でも飲んで帰って」と言われるまでになりました。

「宝塚ちどり」のスタッフの方々は、個々の入居者の性格を把握し、生き甲斐を見つけ出してくださり、こういった家族懇談会や、様々な研修会からも、どん欲にそれぞれの意

見を取り入れ、一人ひとりが責任を持った介護を心掛けておられます。安心して母を入居させることができ大変感謝しております。



「貴重なご意見・お褒めのお言葉ありがとうございます。 （森本）」

ユニット報告

桜台・雲雀ヶ丘ユニット

以前、施設内でご利用者を対象にメイクアップをしたところ、大変好評でしたので、今回ユニットで化粧品を購入しました。若い頃から化粧をされていた方は、ご自身でファンデーション・眉毛・頬紅・口紅と慣れた手つきでお化粧され、毎回違った表情を楽しまれています。お化粧をすると、周りの方も「あの人、綺麗にお化粧しているね」と言われ、する側も見る側も、お互いに刺激になっていると感じました。

施設内でも身だしなみを整え、おしゃれをすることで、気分も明るくなるのだと気づかされ、今後もこの気持ちを忘れないでいたいと思いました。



（伊波）

グループホーム

お花見に出かけました。近所の公園に行き、お弁当を食べ、大堀川の桜並木を歩き満開の桜を堪能しました。「綺麗に咲いているねえ」と笑顔で春の訪れを感じておられるようでした。

残念ながら雨が降り、桜が散ってしまいお花見に行けなかったご利用者は回転寿司に出かけ、楽しい時間を過ごしました。

（安藤）



委員会報告

感染症委員会

感染症委員会では、足用のタオルの活用方法や、ゴミ出しルートについて再検討しました。ユニット内での感染症を未然に防げるように、取り決めた事をスタッフに周知していきたいと思っています。

「菌を持ち込まない」「広げない」を合言葉に、館内の感染ゼロを目指して取り組みます。
(森)



地域交流委員会

先月から引き続き、六月二日に開催予定の「ボランティア交流会」の内容を話し合いました。

また、施設内のレクリエーションの活性化に向けて、意見交換をしました。今回の会議では「外出レクリエーション時の、運転手のコーディネート」「定期的に買い物の日を設定する」「毎週の喫茶や、施設イベント

の案内強化」から始めてみてはどうか、ということになりました。

社会参加の機会を増やし、生活の質の向上、ご利用者満足につながればと考えています。

また、五月六日には「はんしん自立の家」にご利用者と外出し、紙ふうせんコンサートを楽しみました。

(岡村)

事故防止委員会

事故防止委員会では、当施設にあるセンサーマットや、衝撃吸収マットなど安全対策用品として「必要なもの」を「必要になったとき」「必要としているご利用者」にすぐに使って頂けるよう、使用者や数の把握、保管・管理を確実にし、更なる事故防止に繋げていくことを確認しました。

しかし、対策用品に頼りきってしまい、ご利用者の行動を制限したり、工夫を行なわなくなってしまうないように、事故の事例検討や研修を行うことで、皆様の安全な生活を守り

たいと思います。

(杉本)

サービス向上委員会

四年度のサービス向上委員会では、ご家族の付き添いのみで、外出される際の手順書(注意いただく事項や、緊急時の連携などについて)の作成を検討しています。万が一、外出先で何かあった場合の対処方法を載せることで、安心して外出していただけたらと考えています。

(市枝)

給食委員会

四月のイベントで、「出張にぎり寿司」を実施しました。職員の雰囲気作りもあり、舟盛りになった寿司を見て、うれしそうに笑顔を見ることができました。「煮魚や焼き魚は苦手」という方も「お刺身は好き」と



いつも以上にたくさん召し上がっておられました。今後も、皆様のリクエストに答えられる行事食を目指して頑張っていきます。

(森)



研修委員会

四月十日に実施、今年度の研修計画について協議しました。本年は、事故防止研修、感染症研修、救急救命研修、看取り研修、防災研修、認知症研修、法令遵守研修など昨年度の研修に加え、平成二十四・二十五年度の「法人研究発表会」の施設内発表やユニットケアの研修を開催する予定です。

ご利用者・ご家族が安心してご利用できるサービスを目指して、知識や技術の向上を、図れるような研修を行って行きたいと思えます。

(都崎)

二十五年採用の新卒職員紹介

【ふじが丘・すみれが丘ユニット】
まだまだ未熟者ですが、日々努力して、一日でも早く仕事を覚え、一人前の介護職員になれるよう頑張ります。

(田口勝一)



【鶴の荘・亀井荘ユニット】

ユニット内で最年少なので、「元気で明るくをモットーに」、頑張っていきます。

(徳永百厘)



新緑の季節となりました

宝塚ちどりには、「かざぐるまの庭」(メリーポピンス)様が定期的にお手入れされています。



と、屋上庭園があります。

「かざぐるまの庭」では、新緑が全盛を迎え、清々しい風景が楽しめます。



一方、屋上庭園では、チューリップの見ごろが終わり、現在、春野菜(トマト・きゅうり・なすび)を植えています。

気候がよいこの時期は、各部署にて、ご利用者をお誘いし散策しております。ご家族、関係者の方におかれましても、面会などの折、気軽にお声かけくださいましたら、ご案内いたします。(事務所 森本)



編集後記

駅前にツバメの巣があり、忙しく子育てしている姿を目にしました。子どもに愛情を注ぐ姿は、人と変わりがなく心が和みました。(安藤)